

警告！ 危機の自覚

石上事務所

これまでの日本は、平和で安全な国だと言われて来ました。

しかし最近、低所得層・外国人の増加等で治安は悪化してきております。

怖い報道にも他人事と受けとめる方が未だ多数おります。

犯罪件数の中で多いのは、住宅侵入、空き巣、忍び込みです。

特に、事務所・一戸建住宅が多く、窓からの侵入が7割も占めております。

振込詐欺や自動車盗難も頻繁に身近で発生しております。

大切な証明書類(印鑑証明、身分証明等)を司法書士等に取得を依頼しないこと。

弁護士や司法書士による詐欺や使い込みが多く、重要書類は自分で取得し、

印鑑は目前で自分で押して下さい。

親戚の物件を勝手に譲渡したり、先日もアパホテル・積水ハウス等の大手が

司法書士等のいわゆる地面師に十数億円以上も詐欺されております。

建築出来ない土地を買わされたり、多々周辺で生じております。

草加周辺でも以前、市長選に立候補して落選した弁護士(当時 松原団地在住)が、

交通事故の数千万円を着服し、その後当人も春日部で殺されました。

元検事総長の弁護士が億単位の着服、元国税局長の大型脱税、後見人指定の際に、

弁護士・行政書士・司法書士の着服・背任が多くて「裁判所の悩みの種」だそうです。

税務署の職員が無知な納税者に、騙しの書類を書かせたりも多々あります。

これら犯罪の原因としては、事業の失敗、勤務が続かない(失業)、昇進の遅れ、

生活が派手、ギャンブル等からの借金によるものが多いとされています。

その他、地元には根づいていない人、家、会社、家族がない事も多く影響しています。

(多くの税理士・弁護士も大事な時には決して役に立っていません)

【大手ハウスメーカーの問題・事故例の一部】

大和ハウス工業・・・賃貸住宅160棟が国の認定した仕様に適合していない。内11棟は建築基準法違反

屋根裏の界壁パネルの不適合と固定金具の取付ミスで耐火性能が担保されていない。

レオパレス21・・・管理契約不履行による家主100人超が集団訴訟「一定期間で新品に交換する」との契約に対し

実際には交換せず、サブリース賃料よりレンタル料として差し引いていた。

2000年頃より大和ハウスと同じ建築基準法違反をやり続けている。(1時間のTV放送)

積水ハウス・・・平成28年、建築相場の50%高い非耐震物件で1年目より赤字となり、且つ入居者が40%退去し、

この穴埋めに他不動産を売却せねばならない例が発生。

大手ハウスメーカーの賃貸マンションのレベル・信頼には90%問題あります。